

国民健康保険の加入・脱退手続きはお早めに

右表の「こんなとき」に該当する場合は、お早めに届け出をしてください。また、75歳未満で、どの健康保険にも加入されていない方は国民健康保険に加入してください。

・退職により職場の健康保険の資格を喪失しても、一定の加入期間があれば、退職前の健康保険に引き続き加入（任意継続）することができます（退職後20日以内）。加入していた健康保険へ相談してください。

・解雇、倒産などの理由で失業となった場合、保険税が軽減されることがありますのでご相談ください。

	こんなとき	届け出に必要なもの
国保に加入	他の市町村から転入してきた	他の市区町村の転出証明書、印鑑
	退職等により職場の健康保険をやめた	健康保険の資格喪失証明書、印鑑、年金証書等（退職者医療制度該当者のみ）
	職場の健康保険の被扶養者からはずれた	
	子どもが生まれた	出生証明書、母子健康手帳、印鑑
国保を脱退	他の市町村に転出する	保険証、印鑑
	職場の健康保険に加入した	国保と職場の健康保険の両方の保険証、印鑑
	職場の健康保険の被扶養者になった	保険証、印鑑
	国保の被保険者が死亡した	保険証、印鑑
その他	住所・氏名・世帯主が変わった、世帯を合わせた・分けた	保険証、印鑑
	保険証をなくした、汚れて使えなくなった（再交付）	身分を証明するもの、印鑑
	就学のため、子どもが市外へ転出した	保険証、在学証明書、印鑑

医療費の適正な運用にご協力を

医療費は国民健康保険税で賄われています。医療費の適正な運用にご協力をお願いします。

- 定期的に健診を受けましょう・・・病気の早期発見や未然防止のため、年に一度は特定健診およびがん検診等を受け、未来の医療費を抑えていきましょう。
- 重複受診はやめましょう・・・複数の医療機関で同じ病気の治療を受ける「重複受診」は、時間や医療費に無駄があるだけでなく、医療が本当に必要な方の治療に支障があります。
- ジェネリック医薬品の活用を・・・ジェネリック医薬品（新薬と同等の効果があり低価格な薬）を希望する人は、かかりつけ医に相談してください。「ジェネリック医薬品希望カード」は、被保険者証更新時（11月中旬）に郵送しています。

【問合せ先】 市民課（国民健康保険係） ☎428721 FAX421792 shimin@city.kasai.lg.jp

乳がん検診（集団）のお知らせ

乳がんは、早期に発見することで治る可能性が高いがんです。2年に1回定期的に検診を受けましょう。

- 日程／6月2日、16日、7月7日、8月4日、18日
※すべて月曜日
- 料金／40歳代3,000円、50歳以上2,800円
- 場所／健康福祉会館
- 定員／各日30人
- 対象／40歳以上（昭和50年4月1日以前生まれ）の女性市民で、昨年度受けていない方
- 申込／健康課へ電話または窓口で申し込みください
※9月以降の日程は、広報かさい4月号といっしょに配布している「健診のお知らせ」で確認してください。

子宮頸がん検診（個別）の実施医療機関を追加

医療機関名	住所	検診期間	検診料金
うつのみや産婦人科医院 ☎0795-23-8888	西脇市上比延町432-49	平成27年2月末まで	2,000円
おおたレディースクリニック ☎079-265-5335	姫路市砥堀229-1		
服部病院 ☎0794-82-2563	三木市大塚218-3		

※他の医療機関など、詳細は市ホームページまたは「健診のお知らせ」をご覧ください。

【問合せ先】 健康課（健康係） ☎428723 FAX427521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

消費税増税による影響

■消費税増税による病院負担

病院の医療行為による収入から消費税増税分を全て負担することになります。当院では、院外処方により外来薬品にかかる増税の影響は軽減されているとは言え、入院用薬剤や機器購入、委託契約に関して消費税増税による負担は、年間 6,600 万円に上り病院経営に重くのしかかります。

■増税分は医療体制の再編に

国の方針は、消費税増税分のうち 900 億円を医療分野に使うことになっています。その使い道は、地域医療体制の再編を円滑に行うという内容です。病院で言えば、急性期病院から地域包括ケアを扱う医療密度の低い（患者当たりの医療者数の少ない）病院に変わることを支援するために使われます。

国が病院機能再編を急ぐ背景には、高齢化によって「急性期」か「慢性期」か区別がつかない患者が増え、そうした患者をこれまで通り急性期対応を基本とする病院で診ていては、多額の医療費がかかり国の社会保障体制が維持できないことがあります。

病院機能の再編により、北播磨地域の病院間では、急性期病院としての生き残りをかけた競争が激しくなります。加西市において、救急医療、重症疾患の医療、高度の専門性の医療を維持し、市民の命を守るためには病院

機能再編に耐える人や物、お金を加西病院に集めなければなりません。

■病院目標

今年度の病院目標を『**経営と医療の質の一体的向上－患者さんが集まる病院を作ろう！**』と決めました。当院が活力の高い病院として今まで通り存続していくためには、患者の皆さんが病院の価値を認めて集まる医療の質と、医療の質に資金投入できる経営が必要と考えています。

ただし、4月からの診療報酬改定は当院にとって厳しいマイナス改定となり、経営の向上が果たせるかどうかいきなり高いハードルが課されました。

それでも病院にとって経営を向上させる途は、より多くの患者の皆さんが集まること以外にありません。患者の皆さんにとって価値ある医療を行い、患者の皆さんから選ばれる病院をめざしていきます。



市民が満足する医療を受けられる病院をめざして、研修を受ける平成 26 年度の新人職員。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

がん検診無料クーポン券を配布

40 歳代からがんにかかる人が増加し始めます。男性は 2 人に 1 人、女性は 3 人に 1 人が、一生のうちにがんと診断されるほど身近な病気です。継続して検診を受け、早期に発見することで治る可能性も高くなります。

一人でも多くの方にがん検診を受けていただくために、「がん検診無料クーポン券」を 5 月下旬に対象となる方へ郵送します。無料となるこの機会に、症状がなくても検診を受けましょう。

■対象者とがん検診の種類

対象者	がん検診
41 歳（昭和 48 年 4 月 2 日～ 49 年 4 月 1 日生まれ）	肺・胃・子宮・大腸・乳がん
46 歳（昭和 43 年 4 月 2 日～ 44 年 4 月 1 日生まれ） 51 歳（昭和 38 年 4 月 2 日～ 39 年 4 月 1 日生まれ） 56 歳（昭和 33 年 4 月 2 日～ 34 年 4 月 1 日生まれ） 61 歳（昭和 28 年 4 月 2 日～ 29 年 4 月 1 日生まれ）	大腸がん
43～46 歳（昭和 43 年 4 月 2 日～ 47 年 4 月 1 日生まれ） 48～51 歳（昭和 38 年 4 月 2 日～ 42 年 4 月 1 日生まれ） 53～56 歳（昭和 33 年 4 月 2 日～ 37 年 4 月 1 日生まれ） 58～61 歳（昭和 28 年 4 月 2 日～ 32 年 4 月 1 日生まれ）	乳がん ※平成 21～24 年度に無料クーポン券を利用していない方